

関税法第 24 条第 1 項の規定に基づく、金沢税関支署管内における本邦と外国との間を
往来する船舶又は航空機と陸地との交通場所及び貨物の積卸場所の指定

平成 17 年 6 月 1 日 金揭示第 1 号
[最終改正：平成 29 年 5 月 11 日 金揭示第 7 号]

1. 船舶又は航空機と陸地との交通場所

イ. 金沢港

	指定交通場所	船舶の係留場所
(1)	戸水埠頭船だまり西側岸壁	
(2)	戸水埠頭及び御供田埠頭内に港湾施設管理者が設置した出入口	戸水岸壁及び御供田岸壁
(3)	五郎島埠頭	五郎島岸壁
(4)	無量寺埠頭 3 号岸壁(島式)	無量寺埠頭 3 号岸壁(島式)
(5)	石油埠頭内に港湾施設管理者が設置した出入口	石油岸壁
(6)	大浜埠頭内に港湾施設管理者が設置した西側出入口	大浜岸壁

ただし、上記(1)の場所は、沖がかり船と陸地との交通に、上記(2)から(6)の場所は、それぞれの岸壁にけい留している船舶と陸地との交通に限る。

ロ. 七尾港

	指定交通場所	船舶の係留場所
(1)	第一埠頭西側岸壁基部から南西側岸壁	
(2)	第二埠頭に港湾施設管理者が設置した出入口	第二埠頭東側岸壁
(3)	大田埠頭内に港湾施設管理者が設置した出入口	大田埠頭岸壁(大田物資別専用、大田 2 号岸壁、大田 3 号岸壁)及び大田けい船杭
(4)	北陸電力(株)七尾大田火力発電所が設置したゲート	北陸電力七尾大田火力栈橋
(5)	ENEOSグローブガスターミナル(株)七尾ガスターミナルが設置したゲート	ENEOSグローブガスターミナル栈橋

ただし、上記(1)の場所は、沖がかり船と陸地との交通に、上記(2)から(5)の場所は、それぞれの岸壁、けい船杭又は栈橋にけい留している船舶と陸地との交通に限る。

ハ. 小松空港

	指定交通場所
(1)	小松空港国際線ターミナルビルディング(以下、「ターミナルビルディング」という。)2 階出国待合室から第 4 及び第 5 の各ゲートに至る通路
(2)	ターミナルビルディング第 4 及び第 5 の各ゲートから 2 階の検疫ブース及び入国審査ブースを経て 1 階の税関入国検査場に至る通路
(3)	ターミナルビルディング出発手荷物荷さばき場及び到着手荷物荷さばき場からエプロンに至る経路
(4)	日本航空株式会社小松空港保税蔵置場からエプロンに至る出入口
(5)	北陸国際航空貨物ターミナル株式会社保税蔵置場からエプロンに至る出入口
(6)	小松空港給油施設からエプロンに至る経路

ただし、上記(1)の場所は、出国する旅客、乗務員及び航空会社等関係職員の交通に限る。上記(2)の場所は、入国する旅客、乗務員及び航空会社等関係職員の交通に限る。(3)の場所は、航空機の整備、清掃、手荷物及び機用品の積卸し及び運搬等のための航空会社等関係職員及び貨物機により出国する旅客、乗務員の交通に限る。(4)及び(5)の場所は、航空貨物の積卸し及び運搬等のための航空会社等関係職員の交通に限る。(6)の場所は、給油施設等関係職員の交通に限る。

2. 貨物の積卸場所

イ. 金沢港

- (1) 指定保税地域の岸壁の沿岸
- (2) 保税地域への貨物の搬出入と積卸しとが一体的に行われる装置(パイプライン)を有する岸壁の沿岸
- (3) 戸水埠頭船だまり西側岸壁の沿岸(ただし、携帯品、託送品及び船用品に限る。)

ロ. 七尾港

- (1) 指定保税地域の岸壁の沿岸
- (2) 保税地域への貨物の搬出入と積卸しとが一体的に行われる装置(パイプライン)を有する棧橋の沿岸
- (3) 北陸電力七尾大田火力棧橋の沿岸(本船扱いの貨物に限る。)
- (4) 大田けい船杭
- (5) 第一埠頭西側岸壁基部から南西側岸壁の沿岸(ただし、携帯品、託送品及び船用品に限る。)

ハ. 小松空港

第 3 スポット、第 4 スポット、第 5 スポット及び第 6 スポット

附 則

この公告は、平成 29 年 5 月 11 日から施行する。